

2019 年度事業報告

2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 道普請人

1. 事業の成果

| 事業国 | 事業名 | 資金源 |
|------------|---|---|
| a) ケニア | 1. マサイの人々の暮らしと環境との調和に向けた子供たちへの環境教育と天然林保全 | トヨタ環境活動助成プログラム 2017 年度 |
| | 2. 植林の担い手である農民組織と地元 NGO、政府機関をまきこんで行うケニア山麓ガディウル森林保全 (第 2 期) | 公益信託経団連自然保護基金 2019 度 |
| | 3. 半乾燥地の女性グループが行う次世代に繋がる緑の環境づくり | 緑の募金公募事業, 公益社団法人 国土緑化推進機構 |
| | 4. ナロック郡デュポト村での土のうを用いた道直し | ケニア在留邦人知人様からのご寄付 |
| | 5. ケリチョ郡 ECDE センターを中心としたコミュニティによる幼児の栄養改善事業 (3 年事業) における小学校通学路補修協力 | 外務省 H30 NGO 連携無償資金協力 (N 連) HANDs との連携事業 |
| | 6. 阪神高速 社員現場活動 | 阪神高速 2019 年度ご寄付 |
| b) ウガンダ | 1. 現地の材料と地元の若者参加型で行う土のう工法を用いたコミュニティ・アクセス道路補修事業 第 1 期、2 年次 | 外務省 H30, R 元年度 NGO 連携無償資金協力事業 (N 連) |
| | 2. ビクトリア湖ブッシ島での安全な水へのアクセス向上計画 | TOTO 水環境基金 2019 年度 |
| | 3. 脆弱地域の農民、小学生が草の根レベルで実践する土壌保全とレジリエンス強化 | トヨタ環境活動助成プログラム 2019 年度 |
| c) モーリタニア | 1. 若者の雇用創出による持続可能な平和構築 | ILO (日本政府補正予算事業) |
| d) ブルキナファソ | 1. ブルキナファソ西部における住民参加型地方道路整備事業 第 3 フェーズ | (公財) 日本国際協力財団助成事業 |
| | 2. 都市型自治体の女性雇用による労働集約型未舗装道路整備支援と、雇用女性の金融包摂・零細起業による生計安定支援事業 第 1 フェーズ | 外務省 R 元年度 NGO 連携無償資金協力事業 (N 連) |
| e) ルワンダ | 若者の持続的な雇用創出に向けた現地資材を活用した労働集約型未舗装道路整備事業 第 2, 3 フェーズ (N 連 II, III 年目) | 外務省 H30, R 元年度 NGO 連携無償資金協力事業 (N 連) |
| f) ミャンマー | 1. 官民連携での地方道路整備体制確立に向けた未舗装道路改修事業 第 3 フェーズ (N 連 VI 年目) | 外務省 H30 年度 NGO 連携無償資金協力事業 (N 連) |
| g) 日本 | 講演、広報活動 | 団体自己資金 |

*ケニア 4.5.6.事業は、現地事務所での活動(活動計算書には含めず)

2. 事業の実施に関する事項

1. 事業名、2. 事業内容、3. 事業実施期間、4. 事業実施国・地域、5. 従事者数、6. 裨益者、7. 事業費について下記にまとめる。

a) ケニア

ケニア_1

事業名)

マサイの人々の暮らしと環境との調和に向けた子供たちへの環境教育と天然林保全（トヨタ環境 2017 年度）

事業内容)

- a. 苗木づくりに向けた技術支援
- b. 苗木生産組織強化
- c. 小学校での環境教育、貯水タンクの設置

事業期間)

2019 年 4 月から 2019 年 12 月

実施国、地域)

ケニア共和国、ナロック郡

従事者数)

2 名（木村、岩村）

裨益者)

ナロック郡対象コミュニティ 550 名

事業費)

2,644,929 円

ケニア_2

事業名)

植林の担い手である農民組織と地元 NGO、政府機関をまきこんで行うケニア山麓ガディウル森林保全（第 2 期）（公益信託経団連自然保護基金 2019 年度）

事業内容)

- a. 苗木づくりに向けた技術支援
- b. 育苗用ため池の作成
- c. 林道、観光道の整備
- d. 植林とアグロフォレストリー

事業期間)

2019 年 4 月から 2020 年 3 月

実施国、地域)

ケニア共和国、ニェリ郡

従事者数)

2 名（木村、岩村）

裨益者)

ニェリ郡対象農民グループ 106 名

事業費)

1,908,798 円

ケニア_3

事業名)

半乾燥地の女性グループが行う次世代に繋がる緑の環境づくり（緑の募金公募事業、公益社団法人 国土緑化推進機構）

事業内容)

- a. 苗木づくりに向けた技術支援
- b. 苗木生産組織強化
- c. 植樹のための技術支援

事業期間)

2019 年 4 月から 2019 年 6 月

実施国、地域)

ケニア共和国、キツイ郡

従事者数)

2 名（木村、岩村）

裨益者)

キツイ郡対象 2 女性グループ 49 名

事業費)

512,246 円

ケニア_4

事業名)

ナロック郡デュポト村での土のうを用いた道直し（ケニア在留邦人知人様からのご寄付）

事業内容)

- a. 道路整備技術支援
- b. 小学校での苗木生産組織強化

事業期間)

2019 年 4 月から 2019 年 12 月

実施国、地域)

ケニア共和国、ナロック郡

従事者数)

1名 (岩村)

裨益者)

ナロック郡対象コミュニティ 19名

事業費)

6,000米ドル

ケニア_5

事業名)

ケリチョ郡ECDEセンターを中心としたコミュニティによる幼児の栄養改善事業(3年事業)における小学校通学路補修協力(外務省H30N連 HANDsとの連携事業)

事業内容)

a. 通学路整備技術支援

事業期間)

2019年10月7~18日

実施国、地域)

ケニア共和国、ケリチョ郡

従事者数)

1名 (岩村)

裨益者)

ケリチョ郡対象コミュニティ 31名

事業費)

195,790ケニアシリング

ケニア_6

事業名)

阪神高速 社員現場活動(2019年度阪神高速ご寄付)

事業内容)

a. 道路整備技術支援

b. 阪神高速 社員4名の受け入れ

事業期間)

2019年11月19~21日

実施国、地域)

ケニア共和国、マクエニ郡

従事者数)

1名 (岩村)

裨益者)

マクエニ郡対象若者グループ 25名

事業費)

9,100米ドル

b) ウガンダ

ウガンダ_1

事業名)

現地の材料と地元の若者参加型で行う土のう工法を用いたコミュニティ・アクセス道路補修事業 第1期、2年次(外務省H30, R元年度 NGO連携無償資金協力事業(N連))

事業内容)

a. 住民参加によるコミュニティ・アクセス道路補修事業

b. 若者雇用促進に向けた研修

事業期間)

2019年4月~2020年3月

実施国、地域)

ウガンダ共和国、カンパラ市、ワキソ県

従事者数)

3名(木村、岩村、渡辺)

裨益者)

道路整備研修に参加する若者および協働組合員 160人

事業費)

20,703,142(17,610,615 + 3,092,527)円

ウガンダ_2

事業名)

ビクトリア湖ブッシ島での安全な水へのアクセス向上計画(TOTO水環境基金2019年度)

事業内容)

a. 給水率向上のための雨水集水タンク設置

b. 島民、小学生との育苗場建設、育苗支援および植林

c. 小学校における環境・衛生教育

事業期間)

2019年4月から2020年3月

実施国、地域)

ウガンダ共和国、ブッシ島

従事者数)

2名(木村、岩村)

裨益者)

給水タンクを使用する島民 2,011名

事業費)

3,006,428円

ウガンダ_3

事業名)

脆弱地域の農民、小学生が草の根レベルで実践する土壌保全とレジリエンス強化(トヨタ環境 20/21)

事業内容)

- 土壌保全手法の技術支援
- 農民グループ、小学生との育苗場整備、技術支援、植林
- 育苗用水の確保のための給水タンク設置

事業期間)

2020年1月から2020年3月

実施国、地域)

ウガンダ共和国、ブドゥダ県

従事者数)

2名(木村、岩村)

裨益者)

ブドゥダ県の対象コミュニティ 300名

事業費)

1,430,789円

c) モーリタニア

事業名)

若者の雇用創出による持続可能な平和構築(ILO(日本政府補正予算事業))

事業内容)

- インフラ整備・復旧に係る職業訓練の質の向上のために、若者や帰還民 250名を対象に土のうを用いた道直し訓練
- 訓練を受けたグループへの起業支援

事業期間)

2019年9月~2020年1月

実施国、地域)

モーリタニア・イスラム共和国、ヌアクショット市およびティグエント町

従事者数)

3名(木村、岩村、田川)

裨益者)

道路整備研修に参加した住民 250人

事業費)

660,934円

d) ブルキナファソ

ブルキナファソ_1

事業名)

ブルキナファソ西部における住民参加型地方道路整備事業(フェーズ3)

事業内容)

- 住民参加による農道整備の実施と技術移転
- 道路管理者、行政官、NGO、ドナー機関等への土のう工法紹介

事業期間)

2019年4月から2020年3月

実施国、地域)

ブルキナファソ、バンフォラ市

従事者数)

3名(木村、森重、田川)

裨益者)

土のうによる道路整備やその研修に参加した、バンフォラ市の住民 50名、道路利用住民約 10,000名

事業費)

4,762,436円

ブルキナファソ_2

事業名)

都市型自治体の女性雇用による労働集約型未舗装道路整備支援と、雇用女性の金融包摂・零細起業による生計安定支援事業 第1フェーズ(N連4年目)

事業内容)

- a. 全国の都市型自治体道路管理者およびインフラ省県局長、インフラ省本省公共雇用プログラム部局に対する土のう工法研修（研修地バンフォラ市での道路整備含む）
- b. 3か所の都市型自治体において女性を主に雇用した道路整備実施と技術移転
- c. 上記プログラムで雇用される女性への生計安定研修

事業期間)

2019年12月から2020年3月

実施国、地域)

ブルキナファソ、都市型自治体3都市

従事者数)

2名（木村、森重、田川）

裨益者)

道路整備やその研修に参加した、都市型自治体道路管理関係者およびバンフォラ市他、3都市の住民300名、道路利用住民約20,000-40,000名

事業費)

4,850,722円

e) ルワンダ

事業名)

若者の持続的な雇用創出に向けた現地資材を活用した労働集約型未舗装道路整備事業第2,3フェーズ

事業内容)

- a. 住民参加による農道整備事業
- b. 若者雇用促進に向けた研修

事業期間)

2019年4月～2020年3月

実施国、地域)

ルワンダ共和国、北部州ルリンド郡、ガケンケ郡、西部州ニヤマシユケ郡、ルシジ郡

従事者数)

6名（木村、岩村、仲亀、千葉、渡辺）

裨益者)

道路整備研修に参加する住民74人、道路沿線住民500人

事業費)

28,178,478 (27,814,530 + 363,948) 円

f) ミャンマー

事業名)

官民連携での地方道路整備体制確立に向けた未舗装道路改修事業 第3フェーズ (N連VI年目)

事業内容)

- a. 住民参加による農道整備、橋梁建設、CSO研修

事業期間)

2019年4月～2020年2月

実施国、地域)

ミャンマー連邦共和国、エーヤワディ地域、カレン州、シャン州、マグエ地域、ネピドー連邦直轄領

従事者数)

4名（木村、田中、福林、斎藤）

裨益者)

事業実施地域の住民約700人

事業費)

21,425,612円

g) 国内

事業名)

国内・講演・広報など共通事業

事業内容)

- a. 各地で講演会、広報資料作成、配布

事業期間)

2019年4月～2020年3月

実施国、地域)

日本国内

従事者数)

10名（木村、岸田、日下部、児島、瀧川、田中、若山、中井、福林、須摩谷）

裨益者)

国内、不特定多数

事業費)

1,269,468円

2019 年度上半期活動内容

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために
「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2019 年度上期活動概要



ニヤマガバ郡カメグリ地区での道路整備研修（ルワンダ）

| 主な活動 | 2019 | | | | | | |
|--|------|---|---|---|---|---|--|
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | |
| ケニア | | | | | | | |
| 国土緑化推進機構 緑の募金事業、女性グループ支援プロジェクト(木村、福林、岩村) | | | | | | | |
| TOYOTA環境活動助成、環境・森林保全プロジェクト(木村、福林、岩村) | | | | | | | |
| 経団連自然保護基金、道直し・環境保全プロジェクト(木村、福林、岩村) | | | | | | | |
| ルワンダ | | | | | | | |
| 外務省H30年度NGO連携無償資金協力事業(木村、岩村、中島、仲亀、千葉、渡辺) | | | | | | | |
| ブルキナファソ | | | | | | | |
| 日本国際協力財団助成、バンフォラ市内道路整備事業(木村、森重、田川) | | | | | | | |
| モーリタニア | | | | | | | |
| 日本政府補正予算ILO事業 若年雇用の創出による持続可能な平和構築 (木村、岩村、田川) | | | | | | | |
| ウガンダ | | | | | | | |
| 外務省H30年度NGO連携無償資金協力事業(木村、岩村、渡辺) | | | | | | | |
| TOTO水環境基金、給水・環境保全プロジェクト(木村、福林、岩村) | | | | | | | |
| ミャンマー | | | | | | | |
| 外務省H30年度NGO連携無償資金協力事業(木村、田中、福林、斎藤) | | | | | | | |
| CWSジャパン(NPO)との協働事業(日本国際協力財団の助成)(福林、斎藤) | | | | | | | |
| 国内 | | | | | | | |
| 広報活動(木村、岸田、日下部、田中(稔)、瀧川、児島、若山、中井、福林、須摩谷) | | | | | | | |

主な助成事業等

事業名: マサイの人々の暮らしと環境との調和に向けた子供たちへの環境教育と天然林保全

資金協力団体:「トヨタ環境活動助成プログラム」2017 年度

事業期間:2018 年 1 月から 2019 年 12 月(ケニア)

事業名: 半乾燥地の女性グループが行う次世代に繋がる緑の環境づくり

資金協力団体:国土緑化推進機構

事業期間:2018 年 7 月から 2019 年 6 月(ケニア)

事業名: ビクトリア湖ブッシ島での安全な水へのアクセス向上計画

資金協力団体:第 14 回 TOTO 水環境基金

事業期間:2019 年 4 月から 2020 年 3 月(ウガンダ)

事業名: 現地の材料と地元の若者参加型で行う土の工法を用いたコミュニティ・アクセス道路補修事業(第 1 期)

資金協力団体:外務省,平成 30 年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間:2019 年 2 月から 2020 年 1 月(ウガンダ)

事業名: 若者の雇用創出による持続可能な平和構築

資金協力団体:ILO(国際労働機関)

事業期間:2019 年 9 月から 2020 年 3 月(モーリタニア)

事業名: ブルキナファソ西部における住民参加型地方道路整備事業 第 3 フェーズ

資金協力団体:財団法人日本国際協力財団

事業期間:2019 年 4 月から 2020 年 3 月(ブルキナファソ)

事業名: 若者の持続的な雇用創出に向けた現地資材を活用した労働集約型未舗装道路整備事業(第 2 期)

資金協力団体:外務省,平成 30 年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間:2019 年 3 月から 2020 年 3 月(ルワンダ)

事業名: 官民連携での地方道路整備体制確立に向けた、未舗装道路改修事業 (第 3 期)

資金協力団体:外務省,平成 30 年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間:2019 年 2 月から 2020 年 2 月(第 3 期)(ミャンマー)



認定 NPO 法人

みちぶしんびと
道普請人

主な広報活動

| 日程 | 内容 |
|----------|--|
| 9月3日 | 8月30日に実施したウガンダ国ワキソ県における道路開通式の様子が全国版Record TVのニュースにて放映されました。 |
| 8月29日 | TICAD7 公式サイドイベントで、ガンビアで土のう工法の研修を受け起業した女性が、パネリストとして招待されました。 |
| 7月1日 | 国際開発ジャーナル11月号「論説委員視点」に、「ODAにおけるNGOの今後 パラサイトNGOのすすめ」と題した理事長木村教授の論考が掲載されました。 |
| 7月1日 | 一般社団法人アフリカ協会の機関誌「アフリカ」で、政府資金を活用した日本のNGOの取組として、道普請人の活動が紹介されました。 |
| 4月16-18日 | 第8回アジア土木技術国際会議（東京）で活動紹介の展示を行いました。 |

活動報告

ブルキナファソ

- 西部のバンフォーラ市内にて、前年度に続き女性を主に雇用し、土のうによる道路整備を行いました。
- 雇用した女性たちに、小口の融資や貯蓄のための研修を実施しました。



小口の融資や貯蓄のための研修



女性たちによる未舗装道路整備

ケニア

- ナロック郡マサイの森にて失われた森林を再生するため、育苗場の整備や地域ぐるみの植林活動を行いました。
- ニェリ郡ケニア山麓ガティウル森林の再生と地元住民の収入向上のため、育苗やプランテーション管理など3農民グループを対象に研修を行いました。
- キツイ郡における2女性グループ支援事業が完了しました。彼ら自身による育苗場運営体制が強化されました。



育苗・植林の証に本のプレゼント
(Trees for Books)



キツイ郡の女性育苗グループ

ウガンダ

- 外務省の助成にて若者6グループに土のう研修を実施しました。整備した道は、ウガンダ政府からも高い評価を受けました。
- ビクトリア湖の島に住む人々の安全な水へのアクセス向上のため8基の雨水集水タンクを設置し、森林再生のため4育苗場を整備しました。



首都カンバラでの土のう訓練の様子



雨水集水施設の完成に喜ぶ小学生

ILO(国際労働機関)本部(スイス、ジュネーブ)

国際労働機関の本部(スイス、ジュネーブ)を訪問し、今後の連携について確認しました。



ILO 本部(左:福林理事)

ミャンマー

- 団体が研修を行ってきた住民組織が、1,100mの道路を土のうとコンクリートを用いて建設しました。
- 地方道路開発局の副局長が整備を行った道路の視察に訪れ、道路の品質と住民の働きを高く評価しました。



地方道路開発局副局長の道路視察



副局長と住民組織の話し合い

ルワンダ

- 8グループ200人の若者に道直し研修を行いました。これをきっかけに全てのグループが道路施工を続けるために、組合登録手続きを開始しました。



ルチロ郡ムクラ地区での土のう訓練の様子

施工延長(2019年9月末日現在)

| | 累計(m) | 2019年度上期(m) |
|----------------|---------|-------------|
| ケニア | 31,118 | 50 |
| ウガンダ | 8,528 | 913 |
| ルワンダ | 2,688 | 1,187 |
| ブルキナファソ | 7,611 | 250 |
| ミャンマー | 32,256 | 3,050 |
| その他24ヶ国 | 97,970 | 0 |
| 合計 | 180,171 | 5,450 |

認定NPO法人です!

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。

当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。

詳しくは当団体ホームページへ

問合せ先

NPO 法人 道普請人
事務局: 福林良典
Tel: 075-343-7244

E-mail: info@coreroad.org

URL: <http://coreroad.org/>

2019年度下半期活動内容

| 主な活動 | 2019 | | | 2020 | | |
|--|------|----|----|------|---|---|
| | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| ケニア | | | | | | |
| TOYOTA環境活動助成、環境・森林保全プロジェクト(木村、福林、岩村) | | | | | | |
| 経団連自然保護基金、道直し・環境保全プロジェクト(木村、福林、岩村) | | | | | | |
| ルワンダ | | | | | | |
| 外務省H30・R元年度NGO連携無償資金協力事業(木村、千葉、渡辺) | | | | | | |
| ブルキナファソ | | | | | | |
| 日本国際協力財団助成、バンフォーラ市内道路整備事業(木村、森重、田川) | | | | | | |
| 外務省R1年度NGO連携無償資金協力事業(木村、森重、田川) | | | | | | |
| モーリタニア | | | | | | |
| 日本政府補正予算ILO事業 若年雇用の創出による持続可能な平和構築 (木村、岩村、田川) | | | | | | |
| ウガンダ | | | | | | |
| 外務省H30・R元年度NGO連携無償資金協力事業(木村、岩村、渡辺) | | | | | | |
| TOYOTA環境活動助成、環境・森林保全プロジェクト(木村、福林、岩村) | | | | | | |
| TOTO水環境基金、給水・環境保全プロジェクト(木村、福林、岩村) | | | | | | |
| ミャンマー | | | | | | |
| 外務省H30年度NGO連携無償資金協力事業(木村、田中、福林、斎藤) | | | | | | |
| CWSジャパン(NPO)との協働事業(日本国際協力財団の助成)(福林、斎藤) | | | | | | |
| 国内 | | | | | | |
| 広報活動(木村、岸田、日下部、田中(稔)、瀧川、児島、若山、中井、福林、須摩谷) | | | | | | |

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために
「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2019年度下期活動概要



ILO (国際労働機関) 事業での土のう工法の研修 (モーリタニア)

主な助成事業等

事業名: マサイの人々の暮らしと環境との調和に向けた子供たちへの環境教育と天然林保全

資金協力団体: 「トヨタ環境活動助成プログラム」2017年度
事業期間: 2018年1月から2019年12月 (ケニア)

事業名: 脆弱地域の農民、小学生が草の根レベルで実践する土壌保全とレジリエンス強化

資金協力団体: 「トヨタ環境活動助成プログラム」2019年度
事業期間: 2020年1月から2021年12月 (ウガンダ)

事業名: ビクトリア湖ブッシ島での安全な水へのアクセス向上計画

資金協力団体: 第14回 TOTO水環境基金
事業期間: 2019年4月から2020年3月 (ウガンダ)

事業名: 現地の材料と地元の若者参加型で行う土のう工法を用いたコミュニティ・アクセス道路補修事業(1, 2年次)

資金協力団体: 外務省, H30/R元年度日本NGO連携無償資金協力
事業期間: 2019年2月から2021年1月 (ウガンダ)

事業名: 若者の雇用創出による持続可能な平和構築

資金協力団体: ILO (国際労働機関)
事業期間: 2019年9月から2020年1月 (モーリタニア)

事業名: ブルキナファソ西部における住民参加型地方道路整備事業 第3フェーズ

資金協力団体: 財団法人日本国際協力財団
事業期間: 2019年4月から2020年3月 (ブルキナファソ)

事業名: 都市型自治体の女性雇用による労働集約型未舗装道路整備支援と、雇用女性の金融包摂・零細起業による生計安定支援事業

資金協力団体: 外務省, 令和元年度日本NGO連携無償資金協力
事業期間: 2019年12月から2022年12月 (ブルキナファソ)

事業名: 若者の持続的な雇用創出に向けた現地資材を活用した労働集約型未舗装道路整備事業(第2, 3期)

資金協力団体: 外務省, H30/R元年度日本NGO連携無償資金協力
事業期間: 2019年3月から2020年3月 (ルワンダ)

事業名: 官民連携での地方道路整備体制確立に向けた未舗装道路改修事業 (第3期)

資金協力団体: 外務省, 平成30年度日本NGO連携無償資金協力
事業期間: 2019年2月から2020年2月 (第3期) (ミャンマー)



認定NPO法人 **道普請人**
みちぶしんびと

主な広報活動

| 日程 | 内容 |
|-------|---|
| 3月9日 | ルワンダでの日本 NGO 連携無償資金協力事業（第2期）の終了時ワークショップの様子が、現地新聞の記事になりました。 |
| 1月23日 | ウガンダでの日本 NGO 連携無償資金協力事業（2年次）の贈与契約署名式（於：ウガンダ公共事業省）の様子が、地元テレビ局のニュース・現地新聞で報道されました。 |
| 7月31日 | 「外交」（外務省発行）Vol.56「NGO 最前線」のコーナーで、「道普請は世界へ続く」として道普請人の活動が紹介されました。 |

活動報告

ブルキナファソ

- ・日本国際協力財団の助成による、3年間のバンフォアラ市での事業が終了しました。
- ・3年間のN連事業を、12月に開始しました。COVID-19の影響や治安の問題等の活動に制約がある中でも、バンフォアラ市長による「土のう工法フィールド学校」提唱を受けて、新事業メンバーが市内道路234mの整備工事を終わりました。



ブルキナファソ事務所スタッフ(左から) エンジニア:イラ 現地代表:モハメド 専門家:森重 エンジニア補:スレイマン 会計:サンドリン

ウガンダ

- ・外務省の助成にて訓練した若者6グループに対し、フォローアップ講習を実施し、組織体制の強化に貢献しました。また外務省より2年次事業の承認を得て、贈与契約に署名しました。
- ・ビクトリア湖のブッシ島2村における育苗体制を強化し、小学生や住民と植林を実施しました。また、地すべり被害の多い東部ブドゥダ県にて新規レジリエンス強化事業を開始しました。



若者グループの組織強化研修



育苗を楽しむブッシ島の小学生

ケニア

- ・ナロック郡マサイの森にて、育苗グループの自立のため、生産した苗木の販路拡大活動を行いました。
- ・ニエリ郡ケニア山麓ガティウル森林の再生と地元住民の生計向上のため、林道や国立公園観光道路整備、育苗・植林、運営能力強化トレーニングを実施しました。



農地での植林の実践



農民グループとの林道整備

ミャンマー

- ・ミャンマー建設大臣の出席も得てワークショップを開催し、6年間の活動内容や成果を報告しました。
- ・道普請人の活動の有効性が認められ、地方道路整備局の予算で、住民参加での道路整備を継続することに合意を得ました。



建設大臣によるワークショップでの挨拶



地方道路整備局との話し合い

モーリタニア

- ・日本政府の補正予算にてILOと連携し、政府の技術者や土木技術学校の学生80名を対象に土のう訓練を実施しました。今後同国での土のう工法の広域普及の可能性を探っていきます。



土木技術学校学生への土のう訓練



整備後の道路(延長360m)

ルワンダ

- ・すでに土のう工法の研修を受けた若者8組合に対して、道路整備技法のおさらいのためのデモ施工を行いました。
- ・組合活動も支援し、2組合が独自の事業を開始、2組合が郡政府からの道路整備事業を受注、1組合が生活保護世帯対象の公共事業で現場監督を務めました。
- ・インフラ省や関係機関と郡政府関係者との会議で、土のう工法の有効性が確認されました。これを受けて、組合への道路整備の委託の実現に向けて、議論が行われました。
- ・外務省より3年次事業の承認を得て、贈与契約に署名しました。



若者組合によるデモ施工と、運輸開発庁の技官による出来形確認



インフラ省や関係機関と郡政府関係者との会議

施工延長(2020年3月末日現在)

| | 累計(m) | 2019年度下期(m) |
|---------|---------|-------------|
| ケニア | 31,327 | 209 |
| ウガンダ | 8,528 | 0 |
| ルワンダ | 3,022 | 334 |
| ブルキナファソ | 8,145 | 534 |
| ミャンマー | 32,734 | 478 |
| モーリタニア | 360 | 360 |
| その他23ヶ国 | 97,970 | 0 |
| 合計 | 182,086 | 1,555 |

認定NPO法人です!

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。

当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。

詳しくは当団体ホームページへ

問合せ先

NPO法人 道普請人事務局: 福林良典
Tel: 075-343-7244

E-mail: info@coreroad.org

URL: <http://coreroad.org/>